



仙台市水道局キャラクター

ウォーターくん

# 平成 27 年度事業報告

---

仙台市水道局

## 1. はじめに

- 仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、各年度の事業に取り組んできました。この度、前期計画期間の満了に当たり、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災という未曾有の災害に直面した経験と教訓、そして現状と新たな課題を踏まえつつ、基本理念の実現に向けた施策や事業を推進していくため、新たに後半 5 年間の「仙台市水道事業中期経営計画（平成 27～31 年度）」を策定し、事業に取り組んでいます。

このたび、平成 27 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 1 仙台市水道事業の計画体系



## 2. 決算の概況

- 本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 27～31 年度）の初年度にあたり、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道，エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら，お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。
- 事業実績につきましては，年間総配水量が 1 億 2,027 万 6 千立方メートル，前年度比 44 万 9 千立方メートル（0.4%）増，年間有収水量が 1 億 1,335 万 3 千立方メートル，前年度比 49 万 6 千立方メートル（0.4%）増となり，有収率は前年度と同率の 94.2% となりました。
- 経営面につきましては，災害に強い施設・システムの整備，災害対応時の充実，良好な水質の確保など，強靱性や安全性の向上に取り組むとともに，アセットマネジメントの推進や企業債残高の縮減など，更なる経営基盤の強化にも努めました。
- 次に，建設改良事業につきましては，配水管整備事業で，基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い，45 億 9 千 1 百万円を支出し，配水管延べ 27,551 メートルを布設しました。また，施設整備事業では，青葉山隧道改良工事，福岡取水場自家発電設備更新工事，災害時給水栓設置工事などの災害対策関連事業を行ったほか，茂庭浄水場排水処理施設電機設備及びケーブルラック更新工事，中原浄水場粉末活性炭注入設備新設工事などを行い，40 億 3 千 7 百万円を支出しました。
- 財政状況につきましては，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益 276 億 7 千 1 百万円に対し，総費用 246 億 3 千 8 百万円で，差引 30 億 3 千 3 百万円の純利益となりました。
- 以上が決算の概況でございますが，今後も計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化やサービスの向上に努め，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，お客さまと地域社会に一層信頼される水道事業を目指してまいります。

### 3. 事業実績

区 分	年 度	単 位	平成27年度 (E)	平成26年度 (F)	対前年度比較	
					増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人		1,056,418	1,053,420	2,998	100.3
給水人口 (B)	人		1,052,692	1,049,573	3,119	100.3
年間総配水量 (C)	m <sup>3</sup>		120,276,944	119,827,165	449,779	100.4
(仙台市配水量)	m <sup>3</sup>	( 116,054,488 )	( 115,815,987 )	( 238,501 )	( 100.2 )	
(他市町分水量)	m <sup>3</sup>	( 4,222,456 )	( 4,011,178 )	( 211,278 )	( 105.3 )	
配水能力	m <sup>3</sup> /日		429,115	427,815	1,300	100.3
一日平均配水量	m <sup>3</sup>		328,626	328,294	332	100.1
一日最大配水量	m <sup>3</sup>		365,543	363,807	1,736	100.5
使用給水栓数	栓		440,613	435,313	5,300	101.2
年間有効水量	m <sup>3</sup>		116,082,903	115,594,691	488,212	100.4
年間有収水量 (D)	m <sup>3</sup>		113,353,413	112,856,490	496,923	100.4
配水管延長	km		3,430	3,407	23	100.7
職 員 数 ( 管理者除く )	人		405	406	△ 1	99.8
普及率 (B/A)	%		99.6	99.6	0.0	-
有収率 (D/C)	%		94.2	94.2	0.0	-

## 4. 財政状況

水道料金収入などの収益的収入が 276 億 7,100 万円となる一方で、人件費、物件費などの収益的支出が 246 億 3,800 万円となり、その結果、30 億 3,300 万円の純利益（黒字）となりました。この純利益については、14 億 300 万円を資本金に組み入れ、16 億 3,000 万円を減債積立金（借入金の返済に充てるための積立金）として積み立てました。

### (1) 収益的収支

- 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

**収入 276億7,100万円**

お客さまからの水道料金 230億9,300万円	長期前受 金戻入 14億 300万円	その他 31億 7,500万円
----------------------------	-----------------------------	-----------------------

固定資産の財源として交付された補助金などについて、毎年度の減価償却見合い分を収入として計上したもの

**支出 246億3,800万円**

当年度純利益30億3,300万円

人件費 30億 800万円	物件費など 70億7,500万円	受水費 58億6,800万円	減価償却費 73億2,000万円	支払利息 13億 6,700万円
---------------------	---------------------	-------------------	---------------------	------------------------

県などから浄水を  
購入するための  
費用

水道施設などの資産価  
値の目減り分を毎年の  
費用として計上した  
もの

国などか  
らの借入  
金の利息

### (2) 資本的収支

- 水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

**収入 55億5,900万円**

企業債 41億3,500万円	その他 14億 2,400万円	損益勘定留保資金 など 81億7,200万円
-------------------	-----------------------	---------------------------

施設の建設・改良工事  
のために国などから  
借りるお金

減価償却費などの現金支出を伴わない  
費用などを充当

**支出 137億3,100万円**

建設改良費 88億9,400万円	企業債償還金 48億3,700万円
---------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用

国などからの借入金の  
元金の返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

科目 \ 区分	平成27年度	平成26年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業収益	27,671,060	27,885,274	△ 214,214	99.2
営業収益	24,692,927	24,789,485	△ 96,558	99.6
給水収益	23,668,171	23,657,394	10,777	100
受託工事収益	95,597	246,446	△ 150,849	38.8
その他営業収益	929,159	885,645	43,514	104.9
営業外収益	2,974,141	3,050,374	△ 76,233	97.5
受取利息	14,690	15,836	△ 1,146	92.8
不動産賃貸料	36,380	43,578	△ 7,198	83.5
水道加入金	1,073,293	1,084,320	△ 11,027	99.0
他会計補助金	335,550	370,079	△ 34,529	90.7
国庫補助金	29,858	0	29,858	皆増
長期前受金戻入	1,403,099	1,396,174	6,925	100.5
雑収益	81,271	140,387	△ 59,116	57.9
特別利益	3,992	45,415	△ 41,423	8.8
固定資産売却益	480	40,642	△ 40,162	1.2
過年度損益修正益	3,512	4,773	△ 1,261	73.6
水道事業費用	24,637,798	28,714,988	△ 4,077,190	85.8
営業費用	23,157,845	23,045,334	112,511	100.5
人件費	3,007,809	2,935,542	72,267	102.5
物品費	366,406	323,475	42,931	113.3
経水費	5,920,736	5,551,195	369,541	106.7
受水費	5,867,568	6,446,699	△ 579,131	91.0
減価償却費	7,320,155	7,300,832	19,323	100.3
資産減耗費	675,171	487,591	187,580	138.5
営業外費用	1,437,399	1,533,894	△ 96,495	93.7
支払利息	1,366,803	1,463,594	△ 96,791	93.4
繰延資産償却	68,935	68,935	0	100.0
雑支出	1,661	1,365	296	121.7
特別損失	42,554	4,135,760	△ 4,093,206	1.0
過年度損益修正損	33,682	41,911	△ 8,229	80.4
固定資産売却損	8,872	0	8,872	皆増
その他特別損失	0	4,093,849	△ 4,093,849	皆減
当年度純損益	3,033,262	△ 829,714	3,862,976	—

(注) 消費税及び地方消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

科目	区分	平成 27 年度	平成 26 年度	増減額(△減)	比率(%)
水道事業資本的収入		5,559,467	4,155,475	1,403,992	133.8
企業債		4,135,000	3,020,000	1,115,000	136.9
固定資産売却代金		16,221	4,214	12,007	384.9
出資金		664,784	496,182	168,602	134.0
国庫補助金		216,382	123,860	92,522	174.7
開発負担金		337,080	350,472	△ 13,392	96.2
負担金		180,950	93,166	87,784	194.2
その他資本的収入		9,050	67,581	△ 58,531	13.4
水道事業資本的支出		13,731,152	13,091,075	640,077	104.9
建設改良費		8,894,429	8,012,603	881,826	111.0
配水管整備事業費		4,590,569	4,256,299	334,270	107.9
施設整備事業費		4,037,273	3,527,917	509,356	114.4
受託等工事費		266,587	228,387	38,200	116.7
企業債償還金		4,836,723	5,078,472	△ 241,749	95.2
差引		△8,171,685	△8,935,600	763,915	91.5

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



## 5. 主な実施事業

- 平成 27 年度に実施した主な事業を「水道事業中期経営計画」における 2 つの『目指すべき将来像』に沿ってご紹介します。

※【 】内の金額は平成 27 年度の事業費です。

### 1 強くて安心な水道

#### (1) 災害に強い施設・システムの整備

- 管路の耐震化【約 41 億 8,300 万円】  
約 17.4km の老朽管や、災害医療の拠点となる病院への管路 2 ヶ所を耐震性に優れた水道管へ更新しました。
- 浄・配水施設の耐震化【約 13 億 1,100 万円】  
茂庭浄水場配水池の耐震補強工事等を実施しました。
- 配水ブロックの再編【約 1 億 6,500 万円】  
適正な水量と水圧の管理、災害時の影響区域の縮小化などを図るため、加茂配水ブロックを再編しました。



管路の更新工事

#### (2) 災害対応力の強化

- 災害時給水栓の設置【約 2,700 万円】  
大規模災害時などに効果的な応急給水ができるよう、市立小学校 26 校に災害時給水栓を設置しました。
- 非常用自家発電設備の更新等【約 3 億 3,400 万円】  
南中山配水所の自家発電設備更新工事が完了したほか、燃料補給用タンクローリーの導入等を実施しました。



災害時給水栓

#### (3) 水質管理の徹底

- 高度浄水処理施設の導入【約 1 億 1,500 万円】  
中原浄水場への粉末活性炭注入設備の設置が完了しました。



## 2 エコで持続可能な水道

### (1) 環境に配慮した事業の推進

- 太陽光発電設備・小水力発電設備の導入【約 4,500 万円】  
国見浄水場・中原浄水場の太陽光発電設備及び上追沢沈砂池の小水力発電設備が稼働を開始しました。



太陽光発電設備

- 省エネルギー型機器への切り替え等【約 3 億 7,300 万円】※老朽更新費用を含む  
南中山配水所への高効率機器導入や、庁舎への LED 照明設備導入等を実施しました。
- 次世代自動車等の導入【約 3,100 万円<sup>※1</sup>】  
公用車の更新にあわせ、11 台<sup>※2</sup>の次世代自動車等を導入しました。  
※1 燃料補給車の事業費は「非常用自家発電設備の更新等」に掲載  
※2 11 台のうち、1 台は次世代自動車等からの更新

### (2) お客さま本位の事業の推進

- 窓口・電話対応や水道料金に関するサービスの充実  
水道料金の非課税世帯減免申請における更新申請の郵送受付を開始しました。
- 水道記念館の改善等  
「水道の歴史」ゾーンの展示リニューアル等を実施しました。



水道記念館

### (3) 経営マネジメントの推進

- アセットマネジメントの推進  
施設・設備に係る情報管理システム構築に向けた基礎調査を実施しました。また、長期的な更新計画策定に向け、既存の水道施設に係る中長期的な課題等についての調査に着手するとともに、管路施設マイクロマネジメント（日常的な維持管理）の方向性等について検討しました。